

抄遊交

静岡大の馬 静岡大の馬 もらった。先生が共同研究をしていた韓国の研究者たちとは、今でも日韓22年前。地元 関係や両国の教育政策をの静岡県内で 議論する仲となった。

弁護士として少年事件の 馬居先生の今の関心事 対応に悩んだ時、友人を は団塊ジュニアが50歳を 介して知り合ったのが青 超える2025年問題 少年教育を専門にする馬 だ。親世代の縮小で出生 居先生だった。「厳しい 数の激減が予想されてい 家庭環境にある子 る。同世代の友達 どもたちこそ公教 育が重要だ」。私 減る中で、子ども の現場感覚と先生 たちの人間性を育 の研究テーマが合 致し、すぐに意気 投合した。月に1 度 重みを増す。「今 度は先生宅で2、3 時間は先生宅で2、3 時間も議論する 頼れる兄のような 存在になった。

原点が教育

徳 善 大 口 鳴する。

馬居先生は3月 人口減少時代の教育をテ

「子どもたちを救うた めに法律や制度を変えら れるのは政治家だけだ」。 衆院選に初出馬した19 93年、背中を押してく れたのも先生だった。衆 院議員として初めて韓国 を訪問した際も同行して

マとする研究会を立ち 上げるという。国会議員 として何ができるか、退 職祝いの杯を交わしながら 教えを請うつもりだ。 (おおぐち・よしのり) 公明党国会対策委員長)